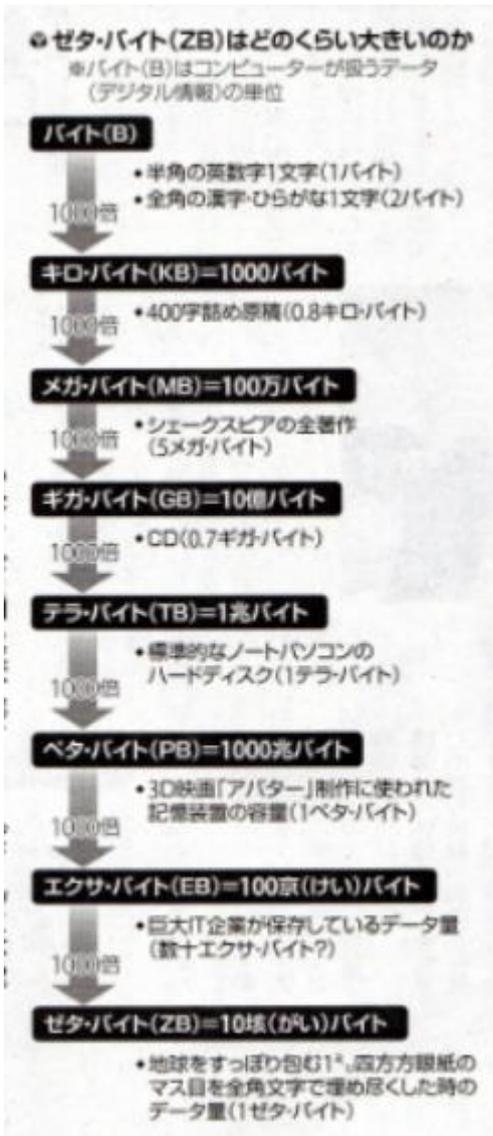


巨大データと AI の 21 世紀 (読売新聞より)

2019 年 8 月 21 日 (大西静磨)

1、記憶容量がゼタ・バイト時代来る



◆データ洪水時代
増え続ける世界のデータ量
スマホや監視カメラなどのデータを含めると 2018 年には 33 ゼタ・バイト、2025 年には 175 ゼタ・バイトになる見込み (米国 IDC 社)

「ゼタ」とは1の後に0が21個も並ぶとてつもない量の単位です。地球を1ミリ四方の方眼紙で包み込んだ時のマス目の数が1ゼタとなる。

◆クラウド時代
作成したデータを自分のパソコンやスマホに保存せずアマゾンやグーグルなど巨大 IT 企業のクラウドに預けるケースが増えてきている
しかしクラウド依存の高まりはデータが巨大 IT 企業に集中して市場の寡占と拍車をかけることになる。

◆中央集権
データの集中は新たな資本主義が生まれようとしている
金融資本主義からデータ資本主義へと移行していく

◆民主主義の試練
民主主義は分散処理を好むのに対し共産主義と独裁制は集中処理を好む。

◆所有者は誰か
データの所有権は巨大 IT 企業と個人との課題がある。

◆新しい秩序 (国際社会は新たな秩序とルールを模索)

21 世紀は「データの時代」といわれる。多種多様なデータがネットを通じて吸い上げられ、人工知能 (AI) で分析される。そこに新たな価値が生まれる。巨大ネット企業によるデータの寡占が様々な波紋を広げている

2、AI はデータが燃料 (喜連川国立情報学研究所長)

巨大なデータがあれば AI 技術でこれを活用した経済活動、政治、医療などあらゆる分野を動かすことになっていく。この動きを一層加速させているのが深層学習科学の進歩である。

- ① 何故データが必要なのか
- ② 医療データは日本の強み・個人情報法との関係
- ③ データの保存先&データ量推移

